

県政報告

ひなた通信

宮崎県議会議員

のざき

こうし

野崎 幸士

本報告書(ひなた通信)は年に4回行われます定例議会の都度制作し皆様方にご報告いたします。今回の報告書は定例議会の内容を中心に日ごろの活動を踏まえご報告いたします。県政がもっともっと皆様方に分かりやすく身近に感じられるよう務めて参ります。



あいさつ

皆様方には、日頃より県政に対しまして多大なるご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

また、私の県政報告書「ひなた通信」第2号を皆様方のお手元にお届けできることを心から嬉しく思います。

今後も県政がもっともっと皆様方に分かりやすく、深くより身近に感じて頂けるよう務めて参ります。

今回の「ひなた通信」は、9月定例議会の27年度の補正予算の審議と26年度歳入歳出決算審査の内容、また初となる一般質問をさせていただいた内容を中心に、ご報告いたします。

初心を忘れず、感謝を忘れず、重責感と緊張感を忘れず、皆様方のそばで気さくにフットワークよく、皆様方の思いや要望等が一つでも少しでも形になるようふるさと宮崎の発展の為に全力で活動して参ります。

宮崎県議会議員 野崎 幸士

ふるさとのために 全力行動



宮崎県議会
自由民主党

野崎 幸士

- 議会運営委員会 副委員長
- 地方創生特別委員会 副委員長
- 商工建設常任委員会 委員
- 障がい者団体懇話会 事務局長
- 海上保安議員懇話会 事務局長
- 九州・沖縄未来創造会議 委員
- 自由民主党宮崎県連青年局 次長
- 政治倫理審査委員会 委員
- 都市計画審議会 委員



野崎幸士 事務所
お気軽にお立寄りください!
皆様方の相談窓口となるよう運営していきます!
住 所：〒889-1605 宮崎市清武町加納2丁目4-2 102号
TEL/FAX：0985(85)6143

HP ▶ <http://www.koushi-nozaki.com>

MAIL ▶ info@koushi-nozaki.com

f 野崎幸士

9月定例議会

期間 9月7日(月)～10月14日(水)

※宮崎県議会定例議会は2月・6月・9月・12月の年4回行われます。

9月定例議会の議案概要は、まず、補正予算額一般会計(69億8,999万円)、特別会計(1,898万円)であります。主な事業概要は、「地域医療介護総合確保基金積立金」、「脳卒中連携体制構築支援事業」、「介護人材確保連携強化事業」、「総合農業試験場(食品分析法人)育成事業」、「東九州新幹線調査事業費負担金」、等であります。

次に、平成26年度宮崎県歳入歳出決算の認定で

あります。一般会計歳入歳出決算の結果は、歳入(5,856億3,588万91千円)、歳出(5,739億2,639万1千円)であります。

財政状況については、年々増加する社会保障関係費、防災・減災対策や公共施設の老朽化対策、人口減少対策・地域経済活性化対策など本県の財政状況は厳しい状況が続く見通しとなっております。



野崎幸士 一般質問

●教育行政、特に「特別支援学校」について質問しました。

質問 特別支援学校に通っている児童生徒数の増加の推移から、今後も児童生徒数は増えると思われ、県内の特別支援学校の教室不足の状況と今後の対応について。

回答 特別支援学校では、児童生徒数が増加している状況にあり、教室が不足している。可能な限り教室の増設に努め、各学校においては、1教室を仕切って2学級としたり、図書室等の特別教室を普通教室へ転用するなどの工夫をしている。現在でも特別支援学校や、県立高等学校によっては空き教室があるので、有効利用ができないか等の検討も含め、その解消に向けて、丁寧な対応をしていきたい。(中略)



要望 一般の小中学校と同じように学校運営をするよう、全国の特別支援学校との情報交換等を行い、強い連携の下、国に対して要望していただくとともに、特別支援学校を取り巻く環境改善に向けた施策をとることや通学バスの増便と高等部卒業後の就労支援に関して要望。

●市町村合併の評価と地域活性化について質問しました。

質問 市町村合併(平成の大合併)の評価無くして地方創生は語れないと思うが、県は、これまでの市町村合併をどう評価されているのか。

回答 「職員と地域住民とのつながりが弱くなった」、「住民の声が届きにくくなった」という意見もあり、コミュニティ機能の低下に対する懸念な

ど、解決すべき課題もある。県としましては、市町村における地域を運営できる仕組みづくりや人材づくり等、引き続き積極的に支援していく。(中略)

要望 国や県が進めてきた合併によって、県内市町村に与えた影響や住民感情を考えると、県・市町村がしっかりとスクラムを組んで、本県の原点・原動力である自治会からのコミュニティの再構築に取り組んでいただくこと、中心部だけでなく地域の隅々まで均衡ある発展の為に、尽力するよう要望。



●河川環境について質問しました。

質問 河川の堆積土砂は、治水に対する影響が大いと思われるが、本県における堆積土砂の取組状況は。

回答 厳しい財政状況であるが、今後とも、効率的、効果的な事業の執行に努め、適正な河川の維持管理を図って参りたい。(中略)

要望 山の荒廃が河川を荒らすとも言われ、河川における治水は、河川災害との闘いの歴史だとも言われている。過去、本県でも経験している河川災害を糧として、山・川の整備に尽力していただくよう要望。

●木質バイオマス発電と林業の活性化について質問しました。

●「生涯活躍のまち」日本版CCRC構想について質問しました。

野崎幸士の活動の様子

武井衆議院議員、河野県知事、戸敷市長とともに、各地で国政・県政・市政報告会を行いました。



他にも様々な活動を行っております！

要望ビフォーアフター

